



北小ものがたり



R6.3.22 校長 坂本公彦

～感動の卒業式～ おめでとう、そしてありがとう！

3月19日、第44回卒業証書授与式が挙行されました。卒業式は小学校行事のなかで一番大きな行事であり、そして最も重要な行事です。この日に向けて卒業生はもちろん、在校生も細部にこだわりながら丁寧に準備を進めてきました。

式当日、卒業生の証書を受け取る時の眼差しや立派な態度、「門出の言葉」の呼びかけではっきりとした言葉で感謝や希望を語る姿、透き通った発声で見事なハーモニーを体育館に響かせた合唱など、すべてが感動的で心に残る素晴らしいものになりました。



今回の卒業式はコロナ禍後、初めてとなる式で、4・5年生と来賓20名が参加するなど、4年ぶりに制限のない式となりました。PTA会長様や市議会代表議員様による心温まるご祝辞は、卒業生だけではなく多くの参加者の胸を打ったと思います。また在校生による力強い呼びかけや合唱からは、6年生への感謝の気持ちと、これからは北小を自分たちが背負うんだという意気込みを強く感じました。式後、新児童会長の5年生中澤千真さんは「6年生の姿に感動しました。またあらためて、自分たちが北小をより良くしていこうと思いました。」と話しています。



卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。卒業式を終えた北小は、6年生がいない寂しさを感じながら、また一歩前へ進んでいきます。卒業生の皆さんも、夢や希望を大事にして中学校生活を充実したものとしてください。在校生と教職員一同、心から応援しています。

6年担任からのメッセージ

中込先生「卒業おめでとう、『向き不向きより前向き』。様々なことに『挑戦』して自分の可能性を広げよう。84名の幸せを願っています。」

指田先生「6年生のみなさん、卒業おめでとうございます。1年間でたくさんの挑戦があり、大きく成長しましたね。これからも失敗をおそれず、チャレンジを続け素敵な人生を歩んでいってください。」

佐藤先生「夢に向かって頑張るみなさんを、先生はいつまでも応援しています。体と心を大切に」

田中先生「この先も、とにかく楽しむことを大事に頑張ってください。」



～「ありがとう」があふれる 6年生を送る会 ～

卒業式に先立ち、2月末に6年生を送る会が実施されました。昨年度まではリモートで行っていましたが、今年は4年ぶりに全校が体育館に集まることができました。笑顔で6年生と在校生が対面している様子を見ると、お互いの顔を見て「送る会」ができることの喜びを感じます。

「送る会」は二部構成で行われ、第一部は縦割りグループにわかれ、教室でゲームをして楽しんだ後、記念品を6年生へ渡しました。6年生は少し照れながらも、みんなの写真とメッセージが書かれた記念品を手にして、とても嬉しそうです。

第二部は体育館で行われ、ひとり一人アナウンスで紹介されるなか6年生が思い思いのポーズをとりながら入場してくると会場は大きな拍手に包まれました。6年生クイズや思い出のスライドで楽しんだ後、6年生から在校生へ

「ありがとう」がたくさんつまった寸劇や合唱が披露され、1～5年生各代表による6年生への感謝の言葉が発表されました。

4年ぶりとなる全校で行う「送る会」は、お互いの「ありがとう」があふれる会になり、ひとり一人の児童が成長する機会になったと思います。今回、新児童会と5年生が中心となって取り組む最初の行事でしたが、とてもスムーズで良い行事となりました。



～校舎の大時計～ 44年ぶりに新しくなりました

校舎の大時計はこれまで何度も修理を重ねてきましたが、残念ながら数年前から修理不能となっていました。先日、その入れ替え工事があり、44年ぶりに大時計が新しくなりました。これで校庭から時計が見えるので、子ども達も休み時間や体育で、時間を確認しやすくなったと思います。

創立以来、長い間、子ども達を見守ってきた校舎の大時計、お疲れ様、そしてありがとうございました。新しい大時計、これから北小の子ども達をよろしくお願いします。



旧



新

～1年間ありがとうございました～ 令和6年度もよろしくお願いします

卒業式が終わり、残すは25日の修了式と26日の離任式となりました。4月には各学年の進級と入学式があり、また新しい1年が始まります。令和5年度、様々な面で保護者や地域の皆様に支えていただきましたことに、心からお礼申し上げます。そして、いつも素直で元気いっぱいな北小児童の皆さん、令和6年度もひとり一人が大きく成長できるよう、みんなで頑張っていきましょう。